

地方の将来を見通した道路ネットワークのあり方



宮田年耕
論説委員
首都高速道路株式会社
代表取締役専務執行役員

橋梁管理における市町村の課題

我が国の橋梁（15m以上）は約15万橋存するが、このうち市町村管理は約8万橋を超える。数多くの橋梁を有する市町村においては、つい最近まで定期点検を実施することすら容易なことではなく、平成19年での実施市町村の割合は1割であった。諸施策が講じられた結果、平成25年にはほぼ全市町村で定期点検が実施されてはきているが、点検をベースとした修繕計画を策定していない市町村は未だ2割ある。その主な理由が「財政力不足」等とのことである（国土交通省資料より）。

定期点検により今まで不明であった橋梁の状況が明らかになることは誠に喜ばしいが、対応を迫られる損傷も相当数発見されてきている。当然のことながら損傷の手当てを行おうとすると「修繕計画を策定していない理由」がさらに重く押し掛かることになる。

過疎地域における試算

この課題を人口も少なく、財政的にもより厳しい過疎地域においてみてみよう。様々な仮定の上での試算であることはご容赦いただきたいが、過疎地域に存する市町村道の通常維持管理に要する費用は今後30年間で約10兆円、市町村に係る橋梁の平均橋齢が約35年と推定されるので30年間で半数の更新が必要になるとするとこれに要する費用は約11兆円、したがって、通常の道路管理を行う傍ら全ての橋梁の機能維持を図ろうとするとトータルの費用は約21兆円と推計される。一方、過疎地域を有する市町村の道路橋梁費は平成24年度で約5,500億円であり、この費用を賄おうとすると現在の予算の1.3倍を投じなければならない。言わずもがなであるが、上記の費用は通常の道路管理と橋梁の更新に要するものだけであり、道路橋梁予算は道路の新設とトンネル等の他の構造物の更新にも振り向けられているものである。

地方における道路ネットワークのあり方

将来に向けて我が国が抱える最大の課題の一つは、人口の急激な減少と地域的な偏在である。「国土のグランドデザイン2050」（国土交通省）において示された基本コンセプト「コンパクト+ネットワーク」がこの課題への有力な解決策であることは論を待たない。しからば、地方の道路「ネットワーク」は前段で述べてきた状

況のなかで、どのような形であるべきであろうか。

第一は、ミッシングリンクが未だ残されている基幹ネットワークの充実である。地域がそれぞれの特色を生かしながら社会経済を維持・増進していくため、競争の基盤である高規格幹線道路や地域高規格道路を地方が疲弊する前に整備する必要がある。これら基幹ネットワークの充実は、東日本大震災の例を見るまでもなく、迫りくる巨大災害への備えからも急がねばならない。

第二は、高次の都市的サービスを受用できるネットワークの確保である。高次のサービスの一つである救急医療を取ってみても、救命率を上げるためには一定時間での搬送（アクセス）が必須である。また、このような高次医療機関が存立するためには一定の後背人口が必要である。それぞれの地域において、医療、商業、福祉等の高次のサービスの提供・享受が可能となるよう、基幹ネットワークに併せてこれらと連携して役割を果たす道路についてはその機能の維持・充実を図らねばならない。

第三は、道路ストックの大半を占める地方道路ネットワークの再編である。急速な高齢化が進む我が国にあって、これからの資源配分の第一は医療・介護・年金になろう。道路に振り向ける予算がこれからまた右肩上がり伸びることはなかなか厳しい状況にある。こうした道路予算の中で投資の優先は第一と第二のネットワークの充実にならざるを得ず、市町村道への配分に大きくシフトできるような状況にはないものと思われる。

現在の予算レベルで現存のストックを維持することすら到底賄えない地方の実態がある中で、地方の活力維持・増進と適正な国土管理を担保するためには、第一、第二で述べたネットワークの充実を図る一方、地方道とりわけ市町村道について存続させるべきネットワークと廃止するネットワークの選択をせざるをえないと考える。

道路ネットワーク再編に向けて

ネットワークの再編に当たっては、地域毎に将来の姿をどのように描くかの作業が大前提になる。集落移転等も含めた地域の居住のあり方や日常的なサービス提供のあり方等を踏まえ、存続すべきネットワークを地域が主体となって選択しなければならない。また、国は地方でのこのような作業への財政的、技術的な支援を講じる必要がある。今の暮らしの激変や今のサービスレベルの低下を強いる厳しい選択である。厳しいけれども早期に地方と国が力を合わせてこの作業に取り掛かる必要がある。そうでなければ、ストックの全体的な質の低下から日々の安全・安心が奪われることになる。